

国内実態調査報告書

テーマ : 人気観光スポットの秘密を探る
ゼミ名 : 高見澤 秀幸 ゼミ
調査日 : 2023年8月1日(火)～8月2日(水)
調査先 : 白い恋人パーク、エスコンフィールド札幌など
授業科目名 : 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
参加学生数 : 14名(3年生)、7名(4年生)

調査の趣旨(目的)

北海道の土産品として高い人気を誇る白い恋人の歴史を学んだうえで、どのようなマーケティングで現在の地位を確立しているのかを学習する。また、具体的な製造方法やライン生産方式を見学することで、製品そのものの魅力についても理解を深める。エスコンフィールド札幌においては見学ツアーに参加することで、本学部で開講されているスポーツ・ビジネス・プログラムの観点からスポーツ・ビジネスにおいて解決すべき課題を発見する。

調査結果

1日目の「白い恋人パーク」では、北海道の土産品として人気の高い「白い恋人」を中心に菓子製造工程のラインや、ホワイトチョコの人気に火を付け爆発的ヒットに繋がった歴史、飛行機の機内食に営業をかけ認知度向上に繋がったマーケティング手法などを学ぶ事ができた。世の中のブームの流れを読み取り、北海道への流入の起点となる飛行機の機内食に目をつけた点は商品のヒットに大きく起因していると感じ、こうした目的を明確にしたマーケティングが商品の成長につながる事を実感した。

2日目の「エスコンフィールド HOKKAIDO」では日本でも類を見ないボールパーク形式の野球場を職員の方に案内して頂いた。札幌近郊の広大な土地を利用して、その区画一帯を「Fビレッジ」と命名し、野球場だけでなくバーや温泉、サウナなど複合的な施設として運営をしていた。野球場の座席も利用目的や顧客に合わせてさまざまな種類が用意されており、それぞれの座席ごとに異なる魅力を感じた。平日のプロ野球の試合のない日の訪問となったが、多くの人で賑わいを見せており、ボールパークとしてのブランド化は成功していると感じた。今後周辺施設の整備が進めば、北海道の一大観光拠点としての価値もより高まると感じた。

